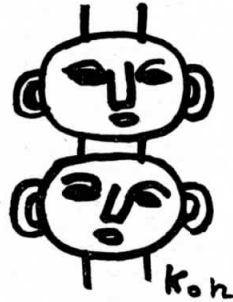


# 西成の中學生たちは叫ぶ



## 私達の心構え

西成区鶴見橋中学校三年  
中田健次

私が授業を受けている時、一人の友達朝の一時間目から、コクリ、コクリと居眠った。先生も初めの中は「おい、何をしているのか?」と、注意を与

犯罪多発地域といわれている西成でも、よい子はたくさん育っている。悪の温床となっているような地域の環境のわるさにもめげず、どうしたらお友達をよく出来るか、不幸な友だちのために友情をどうつくり出してゆこうかと彼等は真剣に考えている。過日西成区で行われた中学生弁論大会の中から、中学生の考える非行化防止への提案に耳を傾けてみましょう。

えられたが、すぐ又始め、しまいには、スースーと寝息をたてて、気持ちよく眠ってしまっています。その友達は、貧しい母と小さな弟妹四人もあって、小さな体で新聞配達のアアルバイトをしているのです。朝早く、暗い中から出かけるのですから無理もありません。初めは、クラスのものも非難のまなこを向けたりして、先生もよく叱ったりしておられました。その友達の家庭を理解することによって、初めて私はやさしい、いたわりまなこに変わり、先生もさびし

げに、しかし慈愛のまなこで黙って見つめながら授業をされてきました。又こんな友達もいます。授業

の貧困による原因が大きい働きをしていると思うのです。本人の望む所でないのに、環境の方が大きい影響を及ぼしているのです。

次に考えられることは、家族の無関心です。

第一に服装。私のクラスにもマンボズボンをはいている者がいます。はでな靴下をはいている者もいます。又、家へ帰ると、これも、はでなカッターシャツや上着を付けて、得意そうにしている者もいます。先生が学校で、「なぜ、そんなマンボズボンははいているのか」と聞かれると「兄さんのお古です」といってすましています。事実、兄さんのお古を弟に下げて、辛抱している家もあるでしょうが、親が子供の教育に関心を持っていないならば、そんな服装はやめさせるべきです。又、中学生の私達も自主的にさげたらよいと思います。

第二に、夜遊びや、男女の交

際も注意すべき事です。夕食後、どこかで夜遅くまで集って、いろいろと話をしています。人が見ると、自分達は正しいと思

て、先生に迷惑をかけています。今、「町を明るくする運動」が広がっています。彼等を泥沼から浮かび上らせるためには、我が西成区こそ、より活発にこの運動を行わなければなりません。それがために必要なのは、私達中学生としての自覚であり、心構えであります。私達の学校でも幾度か「中学生の非行防止」をテーマとして検討したり、学年協議会にも取上げ、学校全体の、代議員会でも検討しました。しかし、私達の協力が足りなかったのか、効果は、もう一つ上りません。あるいは、「何らかの形の上の協力」といっても、そこには、私達の想像もつかないような難問題を含んでいるのでしようが、この難問題の発見、そしてその解決は、役所や政治のやり方や、社会の協力にお願いする必要もあると思

います。さて、私達の住んでいる西成区は、全国でも有数の犯罪多発地と言われています。事実、犯罪者が潜入したり、又、逮捕されたりしています。しかし、それは西成区のある数カ所であって、その悪の温床に、たまたま私達区民がじかに接しているために、その影響を受けて、徐々にその方面へ足を踏み入れたらしているのです。現に、私達の学校でも、他人をおどしたり、ゆすったりする生徒が出たりし

て、先生に迷惑をかけています。今、「町を明るくする運動」が広がっています。彼等を泥沼から浮かび上らせるためには、我が西成区こそ、より活発にこの運動を行わなければなりません。それがために必要なのは、私達中学生としての自覚であり、心構えであります。私達の学校でも幾度か「中学生の非行防止」をテーマとして検討したり、学年協議会にも取上げ、学校全体の、代議員会でも検討しました。しかし、私達の協力が足りなかったのか、効果は、もう一つ上りません。あるいは、「何らかの形の上の協力」といっても、そこには、私達の想像もつかないような難問題を含んでいるのでしようが、この難問題の発見、そしてその解決は、役所や政治のやり方や、社会の協力にお願いする必要もあると思

## 友情



西成区城南中学校二年  
井上俊宏

すべての物はみな生気に満ち、希望に向って邁進しようとする四月のよき日、N中学校へ三百数十人の新一年生が、小鳥のように胸をふくらませて入学してより、早や数カ月が過ぎ去

りました。その一人々々の顔は何とうれしさに輝いていた事でしょう。その中にはK少年もそれと同じ姿で混っていたのです。しかし彼は入学したというだけで翌日からは無届の欠席でした。

或る日のホームルームの時

間、誰いうとなく「あんなにうれしそうな顔をしていたKさんは、何故休んでいるの?」

「一度、K君をたずねてみようではありませんか。」と言う声があちらこちらで持ち上りました。担任のS先生も「皆さんもよいところへ気がつきましたね。先生もそれがよいと思います。何人か委員を作って様子を

見に行けばどうでしょう。」といわれしました。どこからともなく割れるような拍手がおこりました。「本当にかわいそうやね、きつとよほどの事情があるのよ。」「私が行きましょう。」「いや僕が行こう。」と、あちらからもこちらからも賛成の声がわき

か、悪を育てるものがあるの  
 でしょう。か。  
 とところが、私達のまわりには、悪の世界に足を踏み入れてしまった人が数多くあるので  
 す。  
 ある日、こんな事がありました。  
 自習の時間に、英語の予備テストで、みんな一生懸命勉強して  
 いました。ところが、ふと私  
 があたりを見わたすと、二人の男子の姿が見えませんか。「おかし  
 いなあ？」と思い、廊下の方へ  
 目を注ぐと二人でなにやら話を  
 していました。注意すると教室  
 へ入りましたが、今度は、ロッ  
 カーをけとばしたり、いすを机  
 にぶついたりして、それは、大  
 変な乱暴です。これは、大きな  
 社会の問題からみれば小さな  
 とるに足りない事かも知れませ  
 せん。しかし私達にとつては大き  
 な問題です。それは、まず何より  
 もクラスの人がこのような乱暴  
 を働くからであり、こんな事か

ら、学校での規則が守られなく  
 なり、多くの友人に迷惑をかけ  
 る事になってしまします。  
 このように迷惑をかえりみな  
 い態度は、本心に利己的だと思  
 うのです。私達には、私達のつ  
 とめがあります。私達にはきま  
 りがあるのです。これが破られ  
 るという事は、私達にとつてこ  
 れほど大きな問題はないので  
 す。  
 私達中学生時代は、非常に物  
 事に感じやすい時期だといわれ  
 ています。ちょっととした小さな  
 事にでも、怒ったり、又反動的  
 になったり、あるいは、感げき  
 したりするものです。悪い事を  
 した人も、何かに対する怒りや  
 反抗を爆発させたのかもしま  
 せん。そこで考えるのですが、も  
 し悪い行いをする人と、それら  
 を批判する人というように、二  
 つのグループに分れてしまつて  
 は、どうでしょう。いいえ、  
 どんな事があつても、私達は一  
 つの学校の中で、しかもクラス

を共にして勉強し、運動しあつ  
 て助け合うのです。もとあの子  
 は不良だから、もとあの子は悪  
 人だからといつて、仲間はずれ  
 にしてしまひ、周囲の者が冷た  
 い目で見るという事は、絶対に  
 いけない事だと思います。そう  
 なれば、その人はますます不良  
 化していく事でしょう。こうい  
 う人にこそ、なお一層の愛情を  
 もつて接する事が一ばん大切だ  
 と思ひます。  
 私達は非行少年について、批  
 判し、反省していただけると共  
 に、そこから立ち直つてくれる  
 日を持ち、意地悪をしたり、悪  
 口をいふたりして、その人だけ  
 を区別するという事は最もいけ  
 ないと考えております。  
 愛情というものは、なんとも  
 いえない輝やかしいものであり  
 又ふしぎな力をもっています。  
 私達全部が、よく理解し合つ  
 て、秋空のように澄んだ深い愛  
 情で接し合ひ、よりよい清い社  
 会を作つていきたいと思ひます。



あたたかい  
 家庭ならば

西成区天下茶屋中学校二年  
 仲 桂 子

はてしなく青く深く澄んだ秋  
 の空、黄金色に波打つ稲の穂な  
 ど、日本の秋の田園の美しさは  
 毎年の事ながらしみじみと心を

あがりました。やがて五人の代  
 表が決りました。  
 その日の放課後、わずかばか  
 りのみんなの心づくしのおかし  
 を持つてK君の家をおとすれま  
 した。

運よくK少年は家に居りまし  
 たが、入学式に只一度会つただ  
 けの僕達、お互いにはっきり見  
 おぼえないままに何だかきま  
 りの悪い風でありましたが、色  
 々と話をしている中に、母がい  
 ないために彼は一人の弟の面倒  
 を見なければならず、登校出来  
 ないという事がわかりました。

父は朝早くから夜遅くまで働い  
 て居られるので家の事は一切彼  
 が切りまわしているものでありま  
 す。何という立派な行いであり  
 ましょうか。

しかし私達は国民として果さ  
 ねばならぬ勉学を怠るわけには  
 まいりません。何とかしてK少  
 年に登校してもらわなければな  
 りません。色々相談したあげく  
 小さい弟さんを保育所にあずけ

る事になりました。これには近  
 所の人達を始め、S先生、それ  
 に父兄の方々のなみなみならぬ  
 御努力が実を結んだのでありま  
 す。それから、この学級の一  
 人々々が我が事のようにK少年  
 をいたわり、又、弟さんの遊び  
 相手となつてあげたのです。彼  
 の父も感激のあまり工場を休ん  
 だまで学校へ見えることがあり  
 ました。このようにして、今で  
 は運動場の隅に楽しそうに遊  
 びたわむれているK少年の姿が  
 見受けられます。

このクラスの学友の温い気  
 持、これこそ友情といわずして  
 何でありましょうか。皆さん我  
 々は友情に生きようではありません  
 せんか。この心こそ、若人が必  
 ず持たなければならぬ精神であ  
 り、又意気であります。こうす  
 ることこそ、立派な社会を築き  
 上げる第一歩であると確信する  
 ものであります。この友情があ  
 つてこそ、父兄の心を動かし、  
 社会を動かすことが出来るので



非行少年と私達

西成区玉出中学校二年  
 山口 瓊 子

煙の都と古くからいわれてお  
 ります大阪の空も、秋が深まっ  
 て、やはり他の季節には見られ

あります。かくして未然に悪の  
 道への芽生えをつむことが出来  
 ると共に、不良化防止の一助と  
 なることと深く信ずるものであ  
 ります。

私達の友人の作つた詩の一節  
 に「白い雲にのつて遠い所へ  
 旅行がしたいな」というのが  
 ありましたが、青い空にほっ  
 かりと浮んでいる雲を見れ  
 ば、だれもがこんな夢のよ  
 うな事を思うでありますよ  
 う。

日曜日などは、狭い公園で野  
 球に興じる小学生や中学生の男  
 の子、日当りのいいベンチで二  
 、三人の女子が、なにやら面白  
 そうな話でもしているのではし  
 ょうか。笑いながら楽しそうに話  
 合っているのをみかけます。  
 秋の澄んだ空の下で、こんな平  
 和な、なごやかな世界があるの  
 です。このような中に、どうし  
 て悪が忍びこむ事が出来るので  
 しょうか？こんな世界のどこ



### 私達の町を

明かるく

西成区天下茶屋中学校二年  
岡部 仁

私達の町、それは明かるくて、住みよい、楽しい町でなければならぬのです。それなのに、どうして人を傷つけたり、物を盗ったりするような暗い事件が起るのでしょうか。しかも

前の空地にガレージを建て、そこへ大きな立派なトラックが入った時、私は大変うれしくて、小さな胸をいろいろな希望でふくらましていました。商売は長くは続かず失敗してしまいました。その時から私達の苦しい生活が始まったのです。私は忘れもしない小学校一年生の秋、遠足の前の日に自分の着物を持って事務所へ行きました。事務所という事は、私はその当時、質屋と言った事、事務所の事務所と言っていたからです。こんな事を言えば、親の苦勞を小さな子供に見せて、何とバカな親達だろうと思うでしょう。私はそれが大きな間違いだと思っています。親の苦勞は子供も知っておく方がいい、親が苦勞していても知らず、子供はわがままを言う。又、親も苦しめてやる子供にだけは何でも買ってやるという事に、私は反対です。私達十四、五才の年令は、心身ともに少年期から青年期に成長

打ちます。しかし、それと対照的にこの頃の社会の姿は、あわただしくけわしくなってくる様です。特に毎日の新聞に大きくとりあげられている、青少年の犯罪や、非行の増加、これは私達同じ年頃のものとして大変悲しく心配に耐えない事です。なぜ今の少年少女が、ともすると悪の道に走ろうとするのでしょうか。その原因は単に一つや二つではありません。根本的には、意志の弱い事、更には家庭や社会への不満、反抗と言う事になると思います。父母が円満であり、又兄弟仲良く、明るい暮らしをしていれば誘惑に負ける様な弱い心は起らないでしょう。貧しくても、みんなが円満で明るい心で生活する事が一番大事だと思えます。私の家庭は父母と私の三人暮らしです。ちょうど今から七年前、小学校一年生の時です。父が運送屋をするといってトラックを一台買いま

それらのうちのいくつかは、私達の仲間である学生によってなされているのです。

何故、彼等は、悪いと知りながらこのような事をするのでしょうか。まず、はっきり言えることは、彼等の意志が悪の誘惑に負けるほど薄弱だったからです。しかし、その他に家が貧しい事、親の愛情が乏しい事、家庭内の不和、みにくい社会など数えあげればきりがありません。では、彼等はどのようにして悪の道に引きずりこまれていくのでしょうか。私の近所に、こういう少年がいました。

彼は両親と弟と妹の五人暮らしでした。私の近所のアパートには、一年程前の五年生の中頃引越してきました。その頃は、彼は普通の少年と少しも変りのない明朗な少年でした。が、六年生になってから、急に人が変わったように暗くなり、いつも弟や妹の遊び相手となるだけで、友達とは遊ばなくなりまりました。

彼の両親は二人とも働みに出ており、昼間は彼と弟と妹の三人だけでした。初めのうちは良かったのですが、物を考えるようになるにつれて、さびしくなってきたのだと思います。又、彼は、長男で弟達の面倒を見たり、食事のしたくもしなくてはならなかったで、昼間は遊ぶ暇、夜自然と外へ遊びに出るようになり、夜、外へ遊びに出るとお金が欲しくなり、よくない友達も出来たのだと思います。

それで、初めのうちは、自分の家のお金を使っていたのが、しまいに人の持っているお金まで欲しくなり、ついに、六年生になった間もない日、見知らぬ人のポケットからお金を盗ってしまつたのです。この事が警察に知れて、今は少年院に入っています。この間の休みの日に一度帰って来ましたが補導のおかげで更生したのか、過去の暗い影は見られませんでした。その

時、私は彼が一日も早く立直つて社会に出られるようにと祈りました。と同時に、世の中には、不幸にして悪の道に入りこんで立直っていない中学生がまだ多いのです。このような彼等をどのようにしてやれば、立派に立直つてくれるのかと考えました。そうするには、私達は、まず彼等の良き友達や話し相手になつてやるのです。そして彼等の思っている事や、なやみ事を聞いて相談にのつてやるのです。

その次に、皆から取り残されないように、私達が一緒に遊んだり勉強してやるのです。そして彼等に学校生活の楽しさ、集団生活のすばらしさを教えてやれば、自然毎日学校に来るようになり心も楽しくなるでしょう。

又、親達もよく私達を理解して、彼の父母のように仕事に忙しい時もあるでしょうが、例え、五分でも十分でも子供達と

一緒に話し合ったり、ラジオを聞いたりして、一家団らんのお会を作り、明るいごやかな家庭にしてほしいものです。もしこういう打ちとけた家族の話し合いが彼の家庭にあったならば、彼も孤独のさびしさのままに、悪の道に引きずりこまれるような事もなくてすんだ事でしょう。

最後にもう一つ、社会も、もっと私達を理解してくれる必要があるでしょう。例えば、最近の映画、テレビ、ラジオなどは、少年の心をそそるような、犯罪もの、スリラー物語こそあふれていますが、私達に良い影響を与えてくれる番組は数える程しかありません。これでは、私達や親達がいくら一生懸命になつても、かえって良くない行いをするような少年が増えるだけです。一般社会の人々は、私達少年に良い感化を与えるような実例を示し、私達を暖かい目で見守って欲しいものです。